

黄道十二星座

黄道十二星座の歴史と占星術の繋がり

皆さんは現在星座がいくつあるか知っていますか？
その数は八十八個で一九三一年頃に確定されました。そう聞いてみると昔のように感じるかも知れませんが、実は結構最近の話なのです。今回はその八十八個の星座の中でも有名な黄道十二星座の話です。

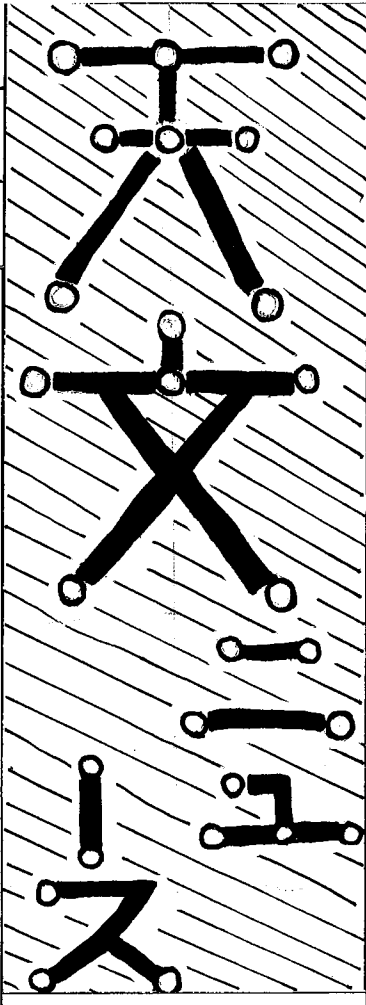
地球は太陽の周りを公転しているため、地球から見た太陽の方向は変わっていきます。その方向を天球上に印をつけて一年間分つないでできる天球上の太陽の見かけの通り道を黄道と呼びます。

この黄道上には、おひつじ座♈、おうし座♉、ふたご座♊、かに座♏、しし座♎、おとめ座♎、てんびん座♎、さそり座♏、いて座♐、やぎ座♐、みずがめ座♉、うお座♊の十二個の星座が並んでいます。

これらを黄道十二星座と呼びます。資料によると遅くとも今から三千年以上前から成立されたと言われています。そう考えると星座の数が確定した年だとして比較的新しく感じませんか？

また、黄道十二星座はその年の占星(せんせい)を取り仕切っていた神宮によって設定されたとも言われています。後の星占にも影響しています。

インド占星術では、まず陰と陽の二つに分け、その後活動・固着・変通の三つに分け、さらに地・水・火・風に細かく分けて占います。



他にも西洋占星術や東洋占星術などの古い方もあるので、自分の生まれ月を知るという事から、黄道十二星座に触れるのもありかも知れません。

《占星術：惑星などの位置などによって人間の運勢や社会の動向を占う術》

二〇一四年の十二月一日に打ち上げられた「はやぶさ2」は、六年かけて二〇二〇年の十一月または十二月に帰還する予定です。小惑星探査プロジェクトとして炭素系の物質を主成分に含むC型小惑星の一つであるリュウグウを探査の対象としました。

今回の「はやぶさ2」は前回の「はやぶさ」の問題点を解決し、改善されました。小惑星の物質を採取する前に事前に爆発を起こし、人工的にクレーターを作ることで、小惑星の内部の物質まで採集することを可能としました。この様子は公式ホームページやYouTubeで生放送されていました。

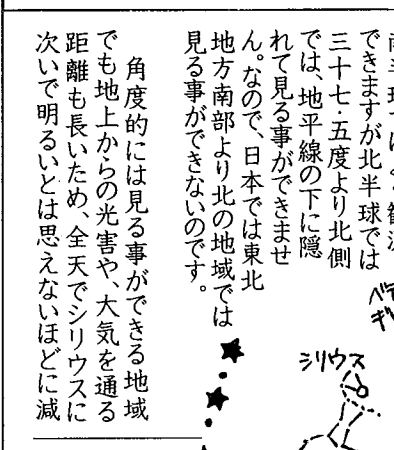
皆さん、カノーパスという星を知っていますか？
カノーパスはりゅうこつ座のα星で全天で二十一個ある一等星の一つで、太陽を除くとシリウスに次いで二番目に明るい恒星です。

カノーパスの地球からの距離は三百十光年で赤緯マインスイス五十二・五度で位置しています。そのため、南半球ではよく観測できますが北半球では三十七・五度より北側では地平線の下に隠れて見る事ができません。なので、日本では東北地方南部より北の地域では見る事ができないのです。

角度的には見る事ができる地域でも地上からの光害や、大気を通る距離も長いので、全天でシリウスに次いで明るいとは思えないほどに減

第三号 天文部広報班

カノーパス



皆さんもぜひ、カノーパスを探してみてください。

今頃の時期の夜八、九時頃、南の空を見るとシリウスが輝いています。カノーパスはその真下に位置しています。

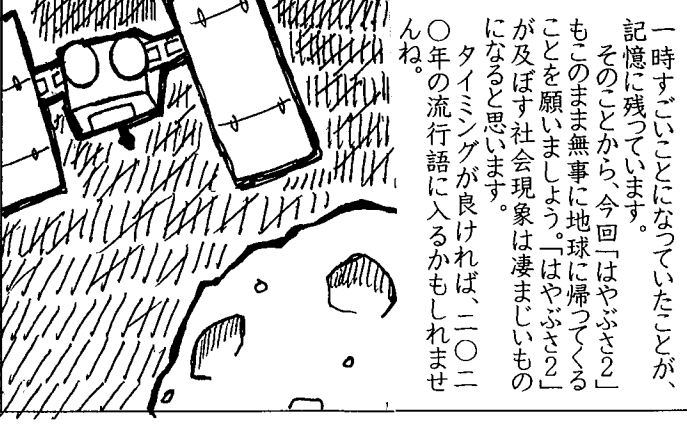
皆さんもぜひ、カノーパスを探してみてください。

今頃の時期の夜八、九時頃、南の空を見るとシリウスが輝いています。カノーパスはその真下に位置しています。

ちなみに、小惑星リュウグウから地球の距離は約八億kmあり、地球と太陽の距離は一億四九六〇万kmなので、だいたい二往復半できる距離になっています。地球から月は平均三十八万四四〇kmなので、約千往復できます。それほど遠くの小惑星になぜ「はやぶさ2」は行くのか。それは、惑星の起源のみならず、地球の海の水の起源や、生命の原材料をも研究することが「はやぶさ2」のミッションだからです。

今から四十六億年前にさかのぼり、太陽系の惑星が誕生した当時の水や有機物が今でも残っているとされているので、その採取された物質が、太陽系はどのようになっているのか、また生命の誕生についても解き明かすこともできるのです。

二〇〇三年に打ち上げられた「はやぶさ」は、世界で初めての物質を持ち帰ることに成功したことから、映画化されたことなど、「はやぶさ」が及ぼした影響力は



光して赤くなり、見つけることが難しくなります。

カノーパスがあるりゅうこつ座は明るい星がかなり多くて南半球では華やかに夜空を彩り、みなみじゅうじ星やケンタウルス座らと共に代表的な星座となっています。

カノーパスは別名「南極老人星」といい、中国では赤みがかつて見えることから、長老の星とされています。この星を見た者は長寿になるといふ伝説もさえ生まれました。

皆さんもぜひ、カノーパスを探してみてください。

今頃の時期の夜八、九時頃、南の空を見るとシリウスが輝いています。カノーパスはその真下に位置しています。

皆さんもぜひ、カノーパスを探してみてください。

今頃の時期の夜八、九時頃、南の空を見るとシリウスが輝いています。カノーパスはその真下に位置しています。